

# オーテピアで学ぶ6次産業化

竹島智美

高知市民図書館（オーテピア高知図書館）

## 1 はじめに

2018年に開館したオーテピア高知図書館<sup>1</sup>は、オーテピア高知県立図書館と高知市民図書館本館が合築してできた図書館である。「課題を解決する地域の情報拠点として、県民・市民の読書環境や、情報環境の改善に貢献することを使命とした図書館」<sup>2</sup>を基本理念の1つとしており、実現に向けてそれぞれのサービス・取り組みの充実を図っている。サービス内容に応じた専門の窓口を設置しており、ビジネス支援デスクも置かれている。ビジネス関連のレファレンスや、関連機関との連携、テーマ展示、パスファインダーの作成、資料の収集・提供などを行っている。他にも、出前図書館や、データベース講習会、図書館活用講座を実施している。各種データベースや、公衆無線LAN、コンセント付きの閲覧席や、グループ室、研究個室が利用できるなど、設備面でも充実している。ビジネス支援サービスを利用者に認知、利用してもらい、課題解決に役立ててもらおうこと。サービスを継続・成長させていくことが求められている。

高知県では少子高齢化による人口減少、他都道府県への人口流出が進んでいる。所得向上、雇用創出の手立てとしての6次産業化に魅力と可能性を感じた。本稿では、ビジネスライブラリアン講習会で学んだことを踏まえ、オーテピア高知図書館のビジネス支援サービスの一環として6次産業化支援を行うことについて考察していきたい。

## 2 6次産業化について

「6次産業化」とは、農林漁業者(1次産業)が、農産物などの生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより、農林漁業者の所得(収入)を向上していくこと。生産物の価値を上げるため、農林漁業者が、農畜産物・水産物の生産だけでなく、食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)にも取り組み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうとするものである<sup>3</sup>。6次産業的な取り組み自体は昔からあり、1.5次産業や1村1品運動、農村女性起業をはじめ、各地で展開されていた。これを背景に、2011年に六次産業化・地産地消費<sup>4</sup>が施行され、6次産業化に向けた普及・支援が国の政策として開始されるようになった。<sup>5</sup>

## 3 高知県の背景と現状

高知県は山と海に囲まれ、豊かな自然を生かした一次産業が盛んな県である。1次産業に従事する労働者の割合は、全国平均が3.2%であるのに対して、高知県では10.1%である。<sup>6</sup>65歳以上の人口比率は、秋田県に次いで2番目に高い。<sup>7</sup>全国に先駆けて

人口減・高齢化が進んでいるため、県外需要を獲得する必要がある。

高知県の第1次産業における県際収支は四国4県で第1位であり、次いで愛媛県、香川県、徳島県と続いている。しかし、食料品製造業の県際収支は4県の中で唯一赤字を計上し、その額はおよそ100億円にも達している。<sup>8</sup>

このことから、高知県では一次産業で収穫されたものの多くが素材のまま県外へ売られており、加工・販売などによって得られる付加価値が県外へ流出していることが分かる。生産・加工・流通・販売の流れを強化し、魅力ある商品開発や、商品の広報、販路開拓を行い、県外需要を獲得する必要がある。

#### 4 事業を実施するための課題

事業を実施するための課題は以下のようなものがあげられる。

- ① 事業者がビジネスの基礎知識や6次産業化に関する知識の習得をする
- ② 6次産業化を始める上で、適切な情報にアクセスしたり、情報を得ることができる環境をつくる
- ③ 図書館や連携先が実施しているビジネス支援や、6次産業化支援サービスの認知度を向上させる

また、令和2年(2020年)4月から始まった「高知県産業振興計画第4期」<sup>9</sup>では、産業成長戦略の重点対象として、「農」「林」「水産」の一次産業を位置づけしており、それぞれの産業で6次産業化を推進する施策がとられている。

#### 5 事業の内容

##### 5-1 概要

産学官民連携センター、高知商工会議所などと連携し、6次産業化について学ぶ講座を開催する。また、図書館内で展示を行う。ブックリストやパスファインダーを作成する。

##### 5-2 目的・効果

6次産業化によって農林水産物の付加価値を高め、雇用創出や地域の所得増加を目指す。地産外商力の向上、魅力ある商品開発や、商品の広報、販路開拓を行うことで農業所得及び農業の魅力を向上させることができる。

図書館で6次産業化を支援するメリットには、6次産業化をする上で役に立つ資料やデータベースなどが数多くある。講座の直後に利用することができ、活用しやすい。誰でも来館できる施設のため、気軽に来館しやすいなどがある。

##### 5-3 具体案

5-3-1 産学官民連携センター、高知商工会議所などと連携し、6次産業化について学ぶ講座を開催する。

- ① 6次産業化の始め方

講師：産学官民連携センター

地域の資源を活かせる 6 次産業化や特産品開発の始め方、考え方、6 次産業化の現状などについて講義を行う。

② 高知県内の 6 次産業化の成功事例を学ぶ

高知県内で 6 次産業化に取り組み、成功した方を講師に招き、実際の事例を交えて話してもらう。

講師 1：東谷望史氏（馬路村協同組合の元組合長）

高知県にある馬路村はゆずの 6 次産業化に成功し、年間約 29 億円を売り上げる村の基幹産業に成長した。農林水産省の 6 次産業化の取組事例集でも紹介されている。<sup>10</sup>

講師 2：井上孝志氏（井上石灰工業株式会社社長）

農産物を活用した新たな 6 次化の取り組みとして、ブドウの栽培からワインの生産・販売までを県内で行う県内産ワインとしてのブランドづくりを行い、注目されている。

③ パッケージデザイン、プロモーションの基礎知識講座

講師：高知商工会議所、ものづくり地産池消・外商センター

消費者が買いやすいパッケージ、商品をアピールするためのデザインについて学ぶ。また、ウェブサイト、EC サイト、SNS といった現代ニーズに合った情報発信方法について学ぶ。

④ 図書館活用講座

講師：図書館ビジネス支援サービス担当

図書館で購入しているビジネス・農林水産業関連の図書・雑誌の紹介

蔵書検索の方法、オーテピアで契約しているデータベース(MieNa(市場情報評価ナビ、ルーラル電子図書館)の紹介など

⑤ 個別相談会

5-3-2 オーテピア館内で図書やパネルの展示、ブックリスト配布

図書館内での連携展示を行う。関連する分野の資料やデータベース、ビジネス支援サービスチラシ、連携先の紹介などを実施する。

図書館内で連携先の 6 次産業支援サービスをパネルにして展示する。また、ビジネスや農林水産業に関連する行政資料や図書を展示し、役立つ情報を伝える。

6 次産業化に役立つ資料を紹介したブックリストや、連携先や、相談できる施設の連絡先、参考となるウェブサイトを記載したパンフレットを作成し、配布する。これらは、展示終了後も連携先などに置いてもらい、配布する。

#### 5-4 連携先

産学官民連携センター、高知商工会議所、高知市産業政策課、高知農山漁村発イノベーションサポートセンター、ものづくり地産池消・外商センターなどを考えている。オーテピアでは、すでに連携実績がある。

#### 5-5 参考となる先進事例

鳥取県立図書館 ビジネス支援ガイド「6次産業化に役立つ資料」<sup>11</sup>

ビジネスライブラリーフォーラム<sup>12</sup>

桑名市立図書館 東海農政局出張講座「六次産業化ってなんだろう！？～新しい産業のしくみを学ぼう～」<sup>13</sup>

宇都宮市立東図書館 アグリビジネス支援講座「地元野菜をピクルスに～6次産業化・商品ブランド化まで～」<sup>14</sup>

やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター「やまぐち6次産業化・農商工連携人材育成研修」<sup>15</sup>

## 6 スケジュール

1年目に準備期間をおき、2年目に本格的に実施する。3年目以降はこれまでの反省を踏まえ事業内容を再検討し改善しながら定着させる。

1年目<準備>	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者を決定</li><li>・連携先への連携依頼・協議</li><li>・全体構成(案)の検討、協議</li><li>・予算要求・決裁</li></ul>
2年目<実施>	<ul style="list-style-type: none"><li>・広報</li><li>・展示開始</li><li>・ブックリスト、パスファインダーの提供</li><li>・講座実施</li></ul>
3年目以降	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の評価</li><li>・企画の修正</li></ul> <p>次年度以降も内容をレベルアップさせた講座を開催する。講座の中で実際に商品開発やパッケージデザイン、広報の計画などを考え、実践する機会をつくる。</p>

## 7 おわりに

ビジネスライブラリアン講習会の課題や講義を通して、高知県や自館の現状、課題を把握し、そのために何ができるかを考えることができた。常世田理事長の「自己判断自己責任」型社会への移行」という言葉や、NTTグループのリモートワーク制度についての話など、図書館の責任や可能性を感じた。講義の内容は、ビジネスライブラリアンとしてだけでなく司書としてどうあるべきかということを知る内容ばかりでとても勉強になった。

全国の図書館員の皆様と交流でき、とても良い経験になった。多くの学び、気づきを与えてくれたビジネスライブラリアン推進協議会事務局の皆様、講師の皆様、受講生の皆様、ありがとうございました。

---

<sup>1</sup>オーテピア高知図書館ウェブサイト

<https://otepia.kochi.jp/library/> (2023.3.22最終アクセス)

<sup>2</sup>『第2期オーテピア高知図書館サービス計画 令和4年度～令和8年度』オーテピア高知図書館/編 2022 p1

<sup>3</sup><https://www.maff.go.jp/j/heya/sodan/1202/a04.html>  
(2023.3.16 最終アクセス)

<sup>4</sup>2011年3月1日に制定された「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」、通称「六次産業化・地産地消法」

<sup>5</sup>『ポスト・コロナと地域産業の展望 2020年度』高知大学人文社会科学部国際社会コース岩佐和幸ゼミナール/編 2021 p19

<sup>6</sup>『県勢の主要指標 令和3年度版』2021 高知県

<sup>7</sup>人口推計(2021年(令和3年)10月1日現在) 統計局

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2021np/index.html>

<sup>8</sup>『ポスト・コロナと地域産業の展望 2020年度』高知大学人文社会科学部国際社会コース岩佐和幸ゼミナール/編 2021 p30

<sup>9</sup>『第4期高知県産業振興計画』高知県産業振興推進部計画推進課/編 2022

<sup>10</sup>農林水産省 6次産業化の取組事例集

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/6jika/attach/pdf/torikumi-14.pdf>  
(2023.3.21最終アクセス)

<sup>11</sup> <http://www.library.pref.tottori.jp/business/cat1/post-20.html>  
(2023.3.16 最終アクセス)

<sup>12</sup>[https://www.city.kurayoshi.lg.jp/system/site/upload/live/13493/atc\\_14\\_12873081.pdf](https://www.city.kurayoshi.lg.jp/system/site/upload/live/13493/atc_14_12873081.pdf) (2023.3.22最終アクセス)

<sup>13</sup> <https://kuwana-library.jp/blog/27880>  
(2023.3.16 最終アクセス)

<sup>14</sup> <https://lib-utsunomiya-event.jp/events/higashi/109>  
(2023.3.16 最終アクセス)

<sup>15</sup> [https://www.6sapo-yamaguchi.org/news/r2jinzai\\_kenshu-2/?post\\_id=2051](https://www.6sapo-yamaguchi.org/news/r2jinzai_kenshu-2/?post_id=2051)  
(2023.3.22最終アクセス)